

今回、留学生による日本再発見の旅「Disucover Japan」の補助金を頂き、2025 年 2 月 18 日～20 日に静岡県富士宮市、熱海城、静岡県立美術館、箱根神社、大涌谷黒卵館、江ノ島神社を訪れた。旅行の目的は日本の文化や歴史や観光資源などを学びながら自然を感じる事だった。

1 日目

1 日目は静岡県富士宮市に行った。富士宮市は、富士山世界遺産センター、浅間大社や白糸の滝などの名所がある町である。富士山世界遺産センターは休館だったので、富士山の事を詳しく学ぶことができなかった。訪問した浅間大社は、富士山信仰の中心であり、雄大な富士山を背景にした神社の美しさが印象的だった。また、ご当地グルメの富士宮焼きそばを食べたかったが、時間がなかったため、食べる事ができなかった。

熱海城は歴史的な城ではなく、観光向けに建てられた城だが、展示や体験コーナーが充実していた。天守閣からは熱海の温泉街や海が見渡せ、観光地としての魅力を感じた。館内では甲冑体験をし、日本の武士文化をより深く理解することができた。

静岡県立美術館では、東洋と西洋の美術作品が展示されていた。特に、ラグビーボール状のガラスに包まれた彫刻館は、自然光のもと自由に鑑賞できる空間であった。見晴らしの良いエントランスから全体を望み、スキップフロアには〈地獄の門〉を含む 32 点のロダン作品が展示。ロダン館とブリッジ・ギャラリーでは、ロダン以前、以降の彫刻も含めた 51 点を鑑賞できた。

2 日目

旅行の 2 日目には箱根神社と大涌谷黒卵館に行った。大涌谷は、箱根の火山でできた観光名所である。硫黄のにおいが漂い、温泉の地熱でゆでた「黒たまご」が名物である。この黒たまごを 1 つ食べると、7 年寿命が延びると言われている。黒たまご館では、黒たまごの販売の所で黒卵を食べて、箱根の火山について学んだ。

その後、箱根海賊船に乗って箱根神社まで行った。箱根の芦ノ湖では観光船が運航しており、中でも箱根海賊船が人気である。帆船を模した豪華なデザインで、箱根町港、元箱根港、桃源台港を結びながら、美しい湖と富士山の景色を楽しめた。また、その船の中で販売している箱根名物のチーズケーキを食べた。

箱根神社は、神奈川県箱根町にある歴史ある神社である。湖畔の森に囲まれた神秘的な雰囲気の中、特に芦ノ湖に浮かぶ赤い鳥居が有名である。開運、交通安全、縁結びのご利益があるとされ、多くの参拝者が訪れる。

3日目

最後の日には、江ノ島に行った。江ノ島神社は、神奈川県藤沢市の江の島にある歴史ある神社で、弁財天を祀っている。江ノ島には、山二つと呼ばれる地形がある。これは、島の中央部にある高低差のある地形のことで、昔から島を東西に分けるような形になっている。

江ノ島岩屋は、長い年月をかけて波に削られてできた自然の洞窟である。古くから修験道の修行場として使われ、歴代の武将や僧侶が訪れた。特に、この岩屋が昔は富士山の氷穴につながっていると言われている。現在は第1岩屋、第2岩屋に分かれており、幻想的な灯りの中を探検できる。

今回の研修旅行を通じて、日本の歴史・文化・自然・観光の多様性について深く学ぶことができた。実際に現地を訪れることで、日本の魅力を肌で感じることができ、とても貴重な経験となった。今後も機会があれば、日本の歴史と文化についてさらに学び、理解を深めていきたいと思う。